

## 令和4年度 芸術科 「書道Ⅰ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	理数科 1年H組 選択者
教科書	書道Ⅰ（東京書籍）	副教材等	

## 1 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2)書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	■オリエンテーション	書写から書道へ	・書の分野、書体、古典とその臨書、用具、執筆法、用筆法について学習し、書写との違いを理解する。	ワークシート
	5	■楷書の学習	・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身	・漢字の楷書の古典により、書の多様な表現方法、書法の違いを知る。 ・楷書の完成期に当たる唐時代の古典を臨書する事で楷書の技法を習得する。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	6				
	7	■行書の学習	・蘭亭序 ・争坐位文稿 ・風信帖	・行書の特徴を理解する。代表的な古典を鑑賞し、作者や時代背景を理解し、臨書学習により、各古典の特徴を把握する。 ・さまざまな種類の行書の古典を臨書し、表現の幅を拓ける。また、中国と日本の古典を比較し、その違いを理解する。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	8	■草書の学習	・真草千字文	・草書の特徴を理解する。代表的な古典を鑑賞し流動感のある運筆・用筆法を習得する。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	9	■創作①	・統一課題による創作	・漢字5文字の創作を行う。学習した古典の特徴を取り入れた創作をする。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	10	■隷書の学習	・曹全碑	・隷書の特徴を理解する。代表的な古典を鑑賞し安定した運筆・用筆法を習得する。	ワークシート 制作中の様子 完成作品

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	■篆書の学習	・泰山刻石	・篆書の特徴を理解する。代表的な古典を鑑賞し深みのある運筆・用筆法を習得する。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	11	■仮名の学習	・平仮名 ・変体仮名 ・連綿 ・蓬莱切	・我が国独自の文字である仮名の成立と字源について学習し、理解を深める。 ・古典を臨書し、連綿の筆使い、用筆法を習得する。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	12	■創作②	・統一課題による創作	・書初めの歴史を学習し、書初め課題漢字5文字を創作する。 ・構成に工夫を凝らし、内容豊かな作品作りをする。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	1	■漢字仮名交じりの書の学習	・漢字仮名交じりの書	・今年度学習した漢字及び仮名の古典を基に、その表現を応用した漢字仮名交じりの書の創作。詩文、形式、構成を工夫し、漢字と仮名の調和を考える。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	2	■自由創作	・課題、書体自由の創作	・今年度学習した内容を基に、自由に作品を創作する。	ワークシート 制作中の様子 完成作品
	3				

### 3 評価の観点

知識・技能	ワークシートへの記入内容による。内容が的を射ているか、また具体性を持っているかを評価基準とする。
思考・判断・表現	提出作品の評価による。臨書では古典の持つ特徴を備えた表現になっているか否か、創作では狙いや裏付けとなる古典が見える表現になっているか否かを評価基準とする。また、線質も重視する。
主体的に学習に取り組む態度	授業時間内における作品制作の様子による。

### 4 評価の方法

毎時間提出のワークシート、作品、作品制作の様子を評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

実技科目であるので、なるべく欠席しないように注意してください。  
書道の作品は多く書けば書くほど線質が良くなりますので、授業時間内は最後まで諦めずに練習してください。また、添削も行いますので、積極的に受けることをおすすめします。